

* * * 市議会からのお知らせ * * *

- 本間敏博教育長再任（任期は2021年10月までの3年間）
 - 新議長に丸山敏彦議員を選出（10月9日をもって加藤前議長が議長職を辞したため、新たに丸山敏彦議員を議長に選出しました。任期は来年4月の改選まで）
 - 平成29年度決算を認定（予算が適切に執行されているか、実施した事業は市民生活において効果的だったのか、などについてそれぞれの分科会ごとに現地視察を含めて審査を行い、その後の本会議で一般会計および各種の特別会計を「認定」しました）
 - 柏崎市の議員定数は現行のまま26人



重野議員は定数削減に反対討論をしました。議員定数を専門に研究している研究者でも「議員定数を削減することが議会改革ということではない」「今まで基礎自治体では議員定数を減らし過ぎてきた」「他の自治体と比較して定数を削減する必要はない」と話す方が少なくありません。そのこと以外に、いくつかの方式で計算しても柏崎市規模では26人が妥当だという結果が出てきます。いずれにしても市民に信頼され、市民の福祉向上のための議会であってほしいと思います。

いつも以上に平和を意識して接してきました。今年も家族みんなで平和について考えることができました。

12月定例会議の予定

12月5日(水)～12月20日(木)
12月10日(月)・11日(火)が一日

「重野まさき後援会」への入会を募集しています。ホームページからも入会できます。

ホームページ <https://www.masakishigeno.com> E-mail info@m-shigeno.net

後援会事務所 ☎0257-24-1671 ★重野正毅はフェイスブックもしています★

人を、まちを、未来を、つなげる しげの **重野まさき通信**

第15号 平成30年11月1日発行
発 行：重野まさき後援会
事 務 所：〒945-0072 柏崎市北園町19-47
連 絡 先：☎0257-24-1671
発行責任者：入澤 稔 [後援会内部討議資料]



防災・防犯を考える

自然災害などの危険はかなり浸透してきましたが日常生活にはそれ以外にも様々な場面で危険が潜んでいます。重野議員は9月定例会議で「防災・防犯の充実」について質問しています。その一般質問を含め、防災や防犯について考えてみました。

(質問)ある市内の中学生は軽い日でも7kg、重い日は10kgを超える荷物を持って通学しているとのこと。持ち運ぶカバンの重さが心配。子どもが持つカバンの重さの健康面・安全面における対策について、教育委員会としての見解を伺う。

健康面では、小学校低学年では体重の15%以上の荷物を背負うことはよくないと言われています。小学低学年の平均体重は22~23kgですから4kgを超える荷物を持って通学することはよくないと言われています。



この写真はペットボトル4本、8kgの荷物を背負ったものです。ズッシリ重さを感じます。

(答弁) 今後各学校の状況を踏まえ、児童生徒の安全面健康面と学習の両立を配慮した対応を取る。文科省から9月6日に児童生徒の携行品に係る配慮（置き勉を含む）についての事務連絡が来ている。

この後、通学時の安全性を高めるために持ち物の軽減を図るようにある程度の「置き勉」を認めるようにした学校もあります。教育委員会も子どもたちの安全について前向きに考えて取り組んでいます。



子どもへの防災教育も大切です

(質問) 学校への防災教育の一つとして「まちから」が提供している「マモル」プログラムがある。予算等のことを含め、来年度以降の防災教育の取り組みについての考えを伺う。

(答弁) 必要な予算措置を含め、学校の防災教育がより充実したものになるよう関係課を取り込みながら、「まちから」と連携しながら検討を進めていく。



重野議員は、「防災士」と「危機管理士2級（自然災害）（社会リスク）」を取得しています。重野議員と防災・防犯について一緒に考えていきましょう。

<覚えていきますか、今年（2018年）の主な自然災害>

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1月…本白根山（群馬県）の噴火 | 2月…北陸での豪雪（国道8号線が停まった） |
| 6月…18日、大阪北部地震（震度6弱） | 7月…西日本での豪雨水害 |
| 7月から8月…全国的な猛暑（40℃を超えた） | 9月…6日、北海道胆振東部地震（震度7） |

<現在の防災常識Q&A>

Questions		Answer
1 家庭での食料などの備蓄は何日分？		▶ 1週間分（3日分では不十分）
2 ビルや家の火災で煙に囲まれそうになったら？		▶ 「透明なビニール袋」をかぶって素早く避難（ほふく前進よりよい）
3 地震発生時の住宅内の安全な場所は？		▶ 玄関（トイレは閉じ込められるかも）
4 水があふってきて水の中を歩くときにはく靴は？		▶ スニーカー（長靴は水が入り歩きづらい）
5 緊急避難するときに重要な持ち物は？	食品用ラップ、安全ピン、赤ちゃん用おしりふきは使い道が多いのであると便利。	▶ 「メガネ」や「飲んでいる薬」「お薬手帳」など個人特有のもの。（水や食料、衣類など誰でも使えるものは避難所にある）



災害時の家族との連絡手段

- 災害発生時の連絡の取り方は、個人の携帯電話からではなく公衆電話からの方がつながりやすい。
- 家族と連絡を取る場合、災害発生から30分くらい経つてから災害用伝言ダイヤル「171」にかける。その時は相手の電話番号が必要になるので、家族の携帯番号も覚えておくこと。パソコンやスマホからは「web171」と入力して画面の指示によって登録する。

<柏崎市防災ガイドブック>

柏崎市では、写真のように「防災ガイドブック」を自然災害編（写真左、表紙が赤色）と原子力災害編（写真右、表紙が緑色）の2種類を発行しています。全戸配布していますので、この表紙は見たことがあると思います。災害発生時の避難場所については、各町内単位ごとに記してありますのでぜひご確認ください。



市としての防災の計画も大切です

（質問）今後、庁舎の移転に伴い、「柏崎市地域防災計画」の中の「業務継続」「受援計画」などは、今から実効性のあるものとして準備をしておかなければならぬ。特に、新庁舎建設場所についての浸水の危険性を心配している市民は少なくない。

柏崎市としての業務継続計画（BCP）を策定することや、「受援計画」を作成することについての市としての見解を伺う。

（答弁）災害は常に起こり得るものという考え方のもと、あらかじめ業務継続計画を策定することは必要であると考える。非常時優先業務も課単位で見直した。9月30日の庁内の災害対応訓練を検証したのち、本年中をめどに業務継続計画を策定していく。受援計画は新潟県との協議を踏まえ、策定作業を今後進めていく。

以上、防犯・防災について重野議員の一般質問と絡めて考えてきました。重野議員は「子どもたちの学力と学習環境整備」についても質問をしています。



柏崎市の子どもたちの学力は？

（質問）今年度の全国学力学習状況調査の結果をどう捉えているのか、経年変化で注視していることはどうだったのか、今後に向けての改善点や各学校への指導事項について伺う。

（答弁）学力に関しては小中学校とも全国平均とほぼ同程度であった。注視している一つ目の学習意欲は、小学校では昨年度より下がり、中学校では上がった。活用の力をつけるために主体的対話的な学びを取り入れていく。二つ目の家庭学習は、小学校は全国平均より6ポイント上回っており、中学生も全国平均を上回っている。各学校での指導の成果と考えている。

子どもたちのネット依存も心配です

（質問）柏崎市では「中学生メディア共同宣言」を出している。このメディア宣言を今後どう取り扱っていくのか。



全国の中高生のネット依存
93万人、7人に1人！

（答弁）メディア利用に限らず、生き方を示したものである。宣言の内容を適宜見直しながら時代に即したものにしていく。大人のメディア宣言も含めて、柏崎の文化になるようにしていく。

「重野まさき議員を囲む会（後援会総会）」を開催します

- 日 時 平成30年12月2日（日） 午後2時～午後4時30分
○会 場 市民プラザ（風の部屋） ○会費 2,000円

※参加を希望される方は重野まさき後援会事務局（TEL：24-1671）までご連絡ください。